

県道高森線に 癒やしのスポット

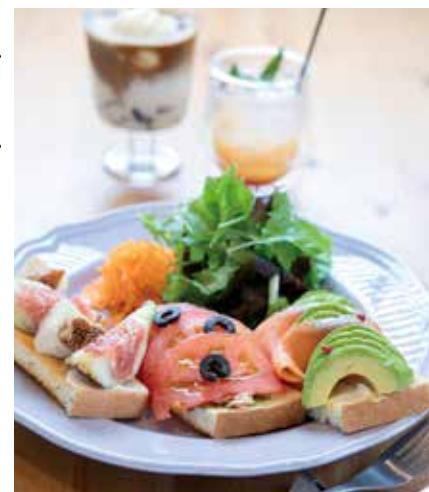
県道熊本高森線4車線化の工事も着々と進み、広崎地区を貫く道路沿いの景色も、ずいぶんと変わっていました。

2年前、県道沿いにオープンしたのが「ミモザ」というカフェです。「地震後、父の仕事場の跡地にお店をオーブンさせました」と話すのは、杉光直子さん（42）です。サンドイッチが人気で、店内でいただけるプレートランチも評判です。他にも、雑貨などが取りそろえています。

店名の由来は、イタリアで毎年3月8日に行われる国際女性デー「ミ



県道熊本高森線沿いにあるカフェ「ミモザ」



ミモザ特製のプレートランチ



明るい笑顔が印象的な杉光直子さん

球磨工業高校から寄贈された「神楽神社」の神殿

神殿の再建に注がれた 寄り添う心と心

広崎公園から南下した右手に、地域の氏神の「神楽神社」があります。

祭神は国造りの神イザナギノミコト、イザナミノミコトとされていました。しかし、5年前の熊本地震で神殿や拝殿が被災しました。

2年前の9月、神殿の再建工事に取り組んだのが、人吉市の球磨工業高校の生徒たちです。神殿は、八代城主だった松井家子孫の個人宅において明治中期に造られたもので、同高に実習教材として寄贈されたものが神楽神社に提供されました。

「伝統建築専攻科の8人の生徒さんたちが公民館に4泊5日寝泊まりして、神殿を移築してくれました」



熊本工業高校の生徒たちが製作した「天満宮」の神殿



「神楽神社」の神殿を移築してくれた球磨工業高校の生徒たち（資料写真）



左から緒方保則さん、竹本紀彦さん、菅野義昭さん

